

## 平成30年度 秋葉区長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

## 1 産学官・地域等と連携し、まちなかの活性化や健康づくり、人材育成に向けた取組を進めます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標							期末評価		
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H31.3末現在	補足・参考指標		期末評価補足	
1	地域総務課	産学官及び地域等と連携し、新潟薬科大学が持つ知的資産と学生の感性やパワーを積極的に活かし、まちなか活性化や健康づくり、里山の魅力発信、人材育成に向けた取り組みを進めます。	・まちなか活性化実行委員会の開催 ・まちづくりをテーマにした講演会等の開催 ・学生とのまちなかミーティングの開催 ・産学官連携による人材育成	全体会議の開催数(回)	4	3	3	3	3	3	・関係機関等との調整、事業の進行管理	第1回6月6日 第2回11月21日 第3回2月6日	達成
2			まちなかミーティングの開催数(回)	-	-	1	1	1	1	・Akihaまちなか学生ミーティング	薬科大学学生コミュニティフィールドワークの中で実施。 ・期日9月10日・テーマ『Akihaをつくる』	達成	
3			人材育成 参加者数(人)	-	22	23	-	-	-	・成果は総合的に判断する	参加者 女性32名。女性の視点から秋葉区のまちづくりを提案。全体ミーティングを3回開催しながら、子育て、まちなか、異文化交流等の視点からアイデアを企画化し実施した。	達成	

## 2 自助・共助・公助の重層的な組合せによる地域ぐるみの福祉を推進するとともに、安心安全なまちづくりを進めます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標							期末評価		
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H31.3末現在	補足・参考指標		期末評価補足	
1	健康福祉課	地域包括ケアシステムによる生活支援として、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、継続的な支援と仕組みづくりに取り組んでいきます。また、認知症高齢者等にやさしい地域づくりを推進するため、区民や地域の団体、教育機関等とネットワークづくりを行います。	・「支え合いのしくみづくり会議(協議体)」を拠点とした地域における支援活動の推進	地域の茶の間の新規開設数(か所)	-	-	-	2	3	・H29年度地域の茶の間の助成事業申請団体数 61団体	にいつ眼科「つながり逢い」、新金沢町「立ち寄り しんかな」、市新「市新お茶の間サロン」	達成	
2			・認知症サポーター養成講座の講師役となるキャラバンメイト連絡会の発足と支援 ・認知症サポーターステップアップ講座の開催 ・認知症フォーラムの開催	キャラバンメイト活動延人数(人)	-	-	-	70	210				達成
3			障がい者の就業支援及び障がい者への理解 ・公共施設や民間企業・事業所等での職場実習の場の提供	障がい者の事業所作業実施か所数(か所)	12	13	14	15	15	・障がい者の職場体験・実習を受け入れる事業所・企業数	受け入れ事業所を1か所追加	達成	
4			・保育園児や学生との共同作業による農作物の栽培・収穫や加工などの作業体験	農作物の収穫や加工体験等の延参加者数(人)	-	-	664	670	673	・障がい者、保育園児、学生、ボランティア		達成	
5			身近な子育て支援の充実 ・子育てサロンの開設 ・ベビーサロンの開催 ・再就職セミナーの開催 ・父親対象の料理教室・パパサロンの開催	男性の延参加人数(人)	-	-	-	20	20		父親を対象にした事業(スイーツ作り・パパサロン)を1回実施した。新津青年会議所男性(父親)メンバーに企画段階から参加してもらった。	達成	
6			ロコモティブシンドローム予防(ロコモ予防) ・地域でのロコモ予防運動の普及活動・継続支援 ・ロコモ予防運動普及サポーターの養成及びフォロー研修、イベントの開催 ・ラジオ体操普及のためのスタート支援	ロコモ予防運動・ラジオ体操の取組団体数(団体)	39	43	47	50	50	・H29年度ロコモ予防運動取組団体数 47か所 ・H29年度新規ロコモ予防運動取組団体数 4か所	・ロコモ予防運動取組団体が3か所(金津2か所・鎌倉)増えた。 ・ロコモ予防運動普及サポーターを43人養成し、所属するサロンやイベント等で活動を開始した。 ・運動を実施している団体を中心に、ラジオ体操を取り入れる所も増え普及が進んでいる。	達成	
7			・新潟薬科大学との連携による健康・自立セミナーの実施	自治会、町内会等での健康・自立セミナーの参加者延人数(人)	-	882	915	920	920		9会場で開催。各会場で前年並みの参加者があり、目標を達成できる見込みである。	達成	
8			健康寿命延伸事業 ・地域に出向いてのフレイル予防等の健康教育・保健指導 ・特定健診、がん検診の受診勧奨 ・糖尿病予防対策 ・生活習慣病予防の取組み	地域の茶の間やサロン等に出向いた回数(回)	84	77	93	100	100		低栄養・口腔ケア・認知症予防をテーマにフレイル予防講座をサロン等で19回実施。 また、生活習慣病予防の取り組みとして、糖尿病予防セミナーの開催や、サロン等様々な所で特定健診、がん検診の受診勧奨を実施しており、目標を達成できる見込みである。	達成	
9			・保育環境の整備とともに老朽化した子育て支援施設の対応策の検討	総合的に判断	-	-	-	-	-	・成果は総合的に判断する	「育ちの森」の整備計画を作成して、公共施設部会に諮っている。	達成	

平成30年度 秋葉区長マニフェストに掲げた取組の指標一覧表

3 魅力ある資源を活かしたまちづくりを進めます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標							期末評価		
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H31.3末現在	補足・参考指標		期末評価補足	
1	産業振興課	新潟薬科大学を商店街活性化のパートナーとして捉え、まちなかが学生の学びの場となる関係を構築するとともに、連携事業の実施を目指します。	・まちなかの魅力創出事業 ・秋葉区拠点商業活性化推進事業	大学・学生と連携した事業の実施(着手事業数)	-	2	1	1	1	1	秋葉区拠点商業活性化推進事業計画ではH28年度から5年計画で5事業の実施を目標。なお、事業は単発のものではなく計画終了後も継続が期待できる長期的なものを想定	薬科大の「キャリア形成実践演習」が前期は17、後期は14のメニューで実施された。成果として、学生がまちなかを活動の場と捉え、新津市場で甘酒などを継続的に販売し始めたほか、商店街イベントでフードロスの啓発がなされた。	達成
2		里山の魅力発信や里山と結びつけたまちなかの活性化、次世代につながる環境教育を行います。	・里山未来創造事業	Akihaマウンテンプレーパークの参加者数(人)	-	1,020	1,843	1,700	1,600	1,600	雨・雪の日が多かったH29年度(計48回)の実績に基づき、10月までは1回あたり平均50人、それ以降は平均12人で計算(H30年度は計42回を予定)	1回あたり平均40人参加。今年度は、猛暑とその後の毎週末の雨で、利用者が減少した。	未達成
3		地域資源を活かし、秋葉区の交流人口の拡大を図ります。	・里山ビジターセンター管理運営	里山ビジターセンター来館者数	28,647	28,696	36,704	32,000	37,000	37,000	・指定管理者側の目標数がH30は32,000人であることに合わせる。 ・新潟トラン普及委員会の大会が今年度はないため、当日および事前の準備で少なくとも500人は減ると見込まれる。	昨年度と比較すると、軽微な増加で推移(H30年度37,000人、H29年度36,704人)している。指定管理者の自主事業等により、若干の増加が見込まれる。	達成
4		・石油の世界館管理運営	石油の世界館来館者数	13,025	10,965	9,957	11,000	10,100	10,100	H29年度は空調設備改修工事のため、1～2月の一部で閉館	ビジターセンターを活用し誘客に努めた結果、H29実績を上回る見込みであるが、目標には届かない見込み。	未達成	
5		・Akihaルール浪漫<ren-ketsu> ・観光誘客宣伝事業 ・まちなかの魅力創出事業	来て基地まちなか案内所への来所者数	-	-	-	720	320	320	・7月～3月の土日祝日に開設(※開設期間の実績は右記のとおり。)	来て基地でのまちなか案内所は、7/21～10/28の土日祝日に開設された。案内人は商店街関係者や観光ボランティアガイドの全10名が勤めた。	未達成	
6		・小須戸地区花とみどりのシンボルゾーン管理運営	うららこすど利用者数(人)	399,072	389,450	371,442	390,000	390,000	390,000	・直売所、ホール、加工室、研修室、市民農園、体験農園、花ステーション、花とみどり館、ポケ公園の利用者数	前年同期比99.3%となっているため、これまで以上にイベント等の開催周知などを通して施設の利用を促していく。	達成見込	
7		商店街組織などと連携し、まちなかの活性化を図ります。	・秋葉区拠点商業活性化推進事業 ・Akihaルール浪漫<ren-ketsu>	にいつ商店街☆体当たりへの参加店舗数	-	15	16	17	18	18		にいつ鉄道商店街実行委員会が10/5～11/10に開催した。歯科医院など3店の新規を含め18店舗が参加した。	達成
8				露店市場へのプレ(試験的)出店者数(件)	-	-	-	5	5	5	・露店市場へのプレ(試験的)出店者とは、現在は出店していないが、市場に興味を持ち試験的に出店する者。	新津市場(一六市場)で薬科大生、農業者、福祉法人の全5者が出店。出店日は9/1、10/6、12/1のべ3日間。	達成

4 秋葉区の魅力や暮らし方を統一的なイメージで区内外に情報発信することにより、地域アイデンティティの醸成を図るとともに移住・定住の促進に取り組みます。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標							期末評価		
				項目(単位)	H27実績	H28実績	H29実績	H30目標	H31.3末現在	補足・参考指標		期末評価補足	
1	地域総務課	秋葉区の魅力を戦略的に発信することにより地域アイデンティティの醸成を図るとともに、移住・定住促進に向けた移住体験ツアーの開催や地域主体による移住・定住の促進に取り組むモデル地区への支援を行います。	・秋葉区ブランドや魅力の発信 ・教育懇談会の開催		-	-	-	-	-	-	・成果は総合的に判断する	パナー掲出や特設Webサイトを活用し、区の魅力を統一的なイメージで発信し、地域への愛情と誇りを育んだ。8月に区の個性を活かした教育環境をテーマに教育懇談会を開催した。	達成
2		・秋葉区移住体験ツアー ・移住モデル地区等への支援		-	-	1	-	-	-	-	・成果は総合的に判断する	小須戸及び朝日・金津地区での移住体験ツアーを企画するとともに(9月29日～30日実施)、地域主体の移住・定住促進に向けた環境づくりを支援した。	達成
3		住民主体の地域活動の深化に向け、コミュニティ協議会と協働で地域課題の解決や地域づくりを推進します。地域と学校の連携による、区の宝を学ぶ子どもの地域学習の場を支援します。	・地域課題の解決策や区政の取り組みをテーマに、区長との意見交換を中心とした地区懇談会の開催	地区懇談会開催回数(回)	11	11	11	11	11	11	・H29テーマ「健康寿命の延伸」	7月に11コミ協と開催。地域課題の解決へ向けての方策や、「人口減少を踏まえた地域づくり」をテーマに意見交換を行った。	達成
4		・Akihaの宝 子ども発見・体感・体験事業	実施学校数(校)	-	-	12	12	12	11	11	・H26～28 秋葉コミふら散歩 ・H28 「みりよくノート」発行、コミふらフォーラム開催 ・H29 地域と学校が連携し、「みりよくノート」を活用した子どもの地域学習	「里山」や「みりよくノート」を活用し、地域コミ協と学校との連携による地域学習を支援した。8月開催の全国PTA研究新潟大会において、地域コミュニティ協議会が「みりよくノート」を活用した地域学習について事例発表を行った。	一部達成